

戦後70年 今こそ憲法を学び暮らしにいかそう



▲講演する谷口氏

▲分科会で発表する向ヶ丘支部のみなさん

大阪民医連 共同組織 交流集会開催

12月13日(日) 御堂会館で、大阪府下を拠点に日頃活動されている、友の会会員や医療生協組合員の交流集会が開かれました。集会には700人以上が参加し、健康友の会みみはらからは約100人が参加しました。

午前中に行われた全体会では、オープニングの「三風太鼓」の勇ましい演奏の後、記念講演「戦後70年今こそ憲法を暮らしにいかそう」の表題のもと、全日本

おばちゃん党代表代行の谷口真由美さんの講演が行われました。谷口さんの軽快なしゃべりとユーモアたっぷりの講演で笑いの絶えない講演となりました。講演後は劇「地域包括ケア」が民医連の職員や友の会員さんで披露されました。

午後からは9つの分科会と3つの特別企画が開かれました。健康友の会みみはらからは8つの支部・ブロックから発表があり日頃の支部活動について交流を深めました。

美人の湯にゆったり浸り ころろ洗われた高野山奥の院参拝 旅行サークル主催 第22回バスツアー

12月13日(日)に、健康友の会みみはら旅行サークル主催の第22回バスツアーが開催され、30人が参加しました。

今回は、今年開創1200年を迎えた世界遺産の聖地「高野山」をメインに、和歌山県の紀中・紀北地方を訪れました。絶好の行楽日和に、自然と心が和みます。「中野酒造」では、出来立ての地酒の試飲、醤油発祥地「湯浅」の街並みを



まもなく年度末、年に一度は 健診を受けましょう

健診に来られる方の多くは、健康な方が大半で

す。年に一度、健診を受けることによって自分の健康を管理できます。健康な結果が出た方は引き続き、今の健康スタイルを保っていただき、何か悪い結果が出た方は、医師と今後の治療法や生活習

慣を相談して改善していく。健康な方がこれからもずっと、健康で生活し続けられるように、私たち健診課もそのサポートをさせていただきます。よく、「今は健康だから健診は受けなくても大丈夫」「もし何か悪い結

果が出たら嫌だから」などと言って、健診を受けない方もまだまだ多くおられます。健康と健康をいっても、いざ採血や各検査してみると、高数値や要検査となる方も見つかるなど、自分ではな

なか「健康」と判断するのは難しいです。また悪い結果が出たとしても、それが「早期発見」であれば、大手術や入院等の大きな負担をせずに、治療を進めることが出来るのです。市民検診や国保、トックなどは、毎年年度末(3月)までが期限となっています。特に予約項目がある検査(胃力メラ・バリウム・エコー等)は、早めの受付が必要です。予約が不要な検診でも、待ち時間がかなり増えてくるのがこれまでの状況です。早め早めの予約をしていただいで、ぜひ年に一度は健診を受けてください。よろしくお願ひします。(組織健診課)



ホテル「季楽里」の玄関口で

の院」に参拝。現地ガイドさんのおもしろくもためになる案内で、笑いが絶えません。「ふつの丘」では、産地直送の野菜や果物をどっさりお買い物。車中では「ビンゴゲーム」で数字が出るごとに歓声があがります。バスは予定より早く堺に到着し、次回の再会を誓いお開きとなりました。

(友の会旅行サークル 事務局長 井上 善雄)



楽しい写真紹介

西区上野芝向ヶ丘町

和崎秀子(65歳)

発足もない向ヶ丘支部在住です。楽しい写真紹介を見て、一度足を運んでみたいと思います。皆さんお元気な様子何よりです。



和田 ひとみ

これほど沖縄の人を

大阪市天王寺区

吉田礼子(63歳)

編集後記に書かれていた、沖縄の辺野古への新基地建設問題。書かれているようにこれほど沖縄の人を馬鹿にしていることとはないと私も強く思いました。

米寿を迎えることに

西区浜寺石津町東

井堀和彦(87歳)

加齢とともにやっと米寿を迎えることになり諸先生方には色々とお世話に相成りました。本当に

ありがとうございました。

熟年パワーで

西区鳳東町

墨光子(56歳)

新病院建設、2期工事も順調な様子、ともを通して活気が伝わってきました。熟年パワーで耳原は支えられているなど歴史を振り返るとともに改めて実感。安心して暮らせる街づくりに医療は必須。頑張ってください！応援しています！

魅力的ですね

東区白鷺町

宮井保代(41歳)

Ⅱ期工事、地域交流ゾーンに「レストラン」それも自然食、魅力的ですね。患者さん、家族、面会の人のことを考えてくれているなど感じます。

本当にありがとう

北区新金岡町

平岡寿子(80歳)

80歳になり少しの年金暮らしですが友の会会費を一度支払っただけなのにすつと機関紙をいれて頂き近くのとも家に時々バザーと健康チエックに行かせていただき本当にありがとうございます。



澤田 節子

2016年